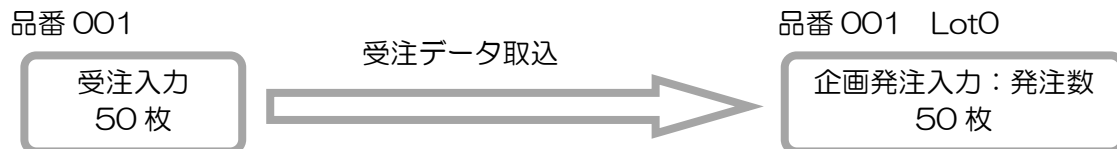


IV-02 受注データ取込(※オプション機能)

受注データ取込の役割

受注データ取込処理は指定した展示会コードに紐づいた受注数を集計し、発注数として生産管理へ取り込む(転記する)処理です。

※受注データ取込時、生産管理で Lot 情報が登録されていない品番は取り込み時にエラーになります。



※品番に複数 Lot が存在する場合、最小 Lot or 最大 Lot のどちらに情報を取り込むかは環境設定をします。
東光オーエシステムで設定しますので事前にご相談ください。

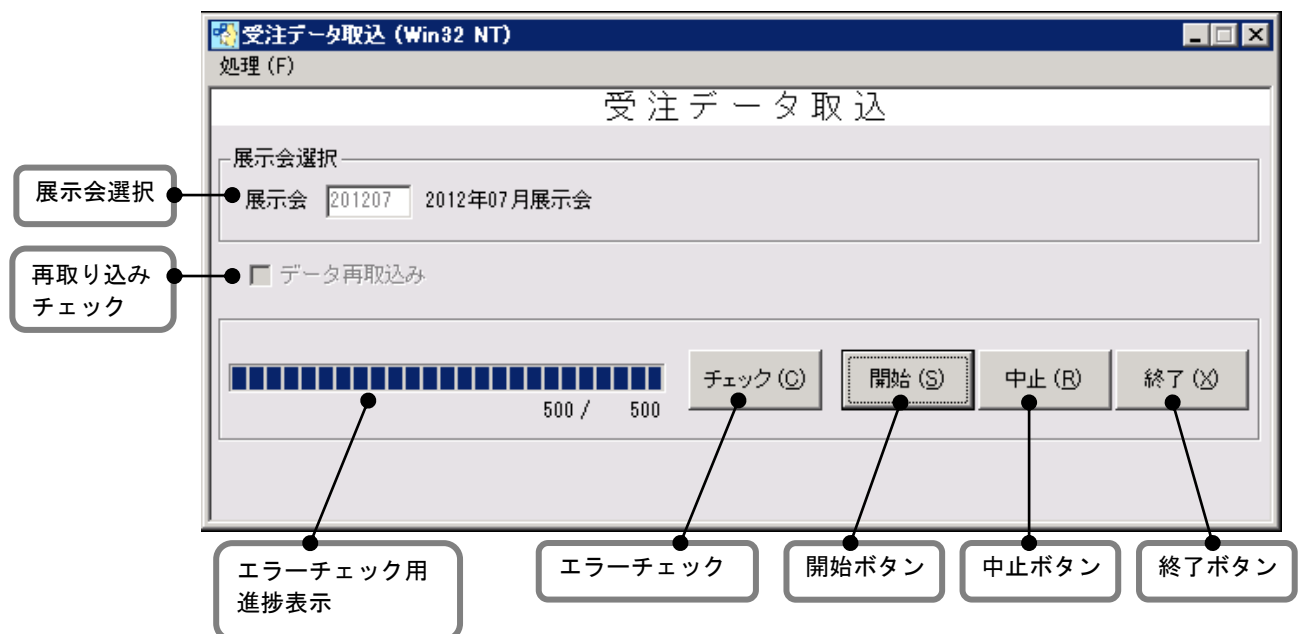
受注データ取込をおすすめするケース

「受注データ取込」は以下のような運用の場合に最適です。

- ・受注数＝生産数とし、生産をおこなう場合
- ・1 品番の受注入力 that 1 つの展示会コードに紐づいている場合

複数の展示会コードで受注入力をしている場合、受注総数を発注数として取り込むことはできません。

受注データ取込 画面説明





操作方法

1. 展示会の選択

受注入力をした展示会コードを指定します。

手入力、または「スペース」キー押下で展示会一覧の中から選択します。

手入力した展示会コードが NBS システム内に存在しない場合は「未登録」と表示します。

【展示会一覧 表示イメージ】

【展示会未登録 表示イメージ】

2. ☐ データ再取込み

既に取り込みを行なった展示会コードで再取り込みをする場合に使用するチェックボックスです。

1.で選択した展示会での受注データ取り込みが初回の場合はチェックをせずに進みます。

データ再取込み機能については P.4 で紹介します。

3. チェック ボタン

取り込み可能か(品番が存在するか)、NBS システムが確認をおこないます。

ここでエラーがあった場合には「開始」ボタンを押さませんので原因を解消してください。

チェック時によくあるエラーについては次のページで紹介します。

【チェック前の状態】

【チェック正常終了後の状態】

4. 開始 ボタン

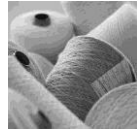
受注数を生産管理の発注数としてデータを取り込みます。

5. 中止 ボタン

チェック完了後以降に対象展示会を変更する場合に、展示会項目をクリアします。

6. 終了 ボタン

終了する場合は「終了」ボタンでメニュー画面へ戻ります。



[チェック時のエラー例]

例 1: 取り込み対象データがない場合

指定した展示会において、特に受注入力がない場合は対象無しとなります

```
*** 受注データ取込みエラーリスト ***      2015/07/27 16:33:05

1          取込対象データがありません
```

例 2: 取り込み済の場合

指定した展示会において、1 度受注データを取り込んでいる場合のエラーです。
現在の受注データを正として取り込みをおこなう場合は「データ再取込み機能」を使用します。
データ再取り込み機能については P.4 で紹介します。

```
*** 受注データ取込みエラーリスト ***      2015/07/27 16:35:16

1          入力展示会は既に取り込みが行なわれています
```

例 3: 生産管理内に取り込み可能な Lot 情報が存在しない場合

対象の品番の Lot 情報(生産情報)を確認し、取り込み可能な Lot 情報がない場合のエラーです。

【原因例】

- ①商品マスターから品番登録をしたため、企画発注入力に登録がない。
(修正モードで呼び出せる Lot がない)
→「企画発注入力」の登録モードから対象品番の Lot 情報を登録してください。
- ②Lot 情報は存在するが、すでに受注データを取り込みが行われており、
次に取り込み対象となる Lot 情報が存在しない。
→Lot0 で取り込み済、Lot1 はまだ登録していないなどの状況が推測されます。
既存の Lot に取り込みが必要な場合は「データ再取り込み」にチェックを入れてください。
追加 Lot に取り込む場合は「企画発注入力」の登録モードから対象品番の Lot 情報を登録してください。

```
*** 受注データ取込みエラーリスト ***      2015/07/27 16:36:22

1          品番: [0000001          ],SEQ: [1] の生産情報が未登録です
2          品番: [0008215          ],SEQ: [0] の生産情報が未登録です
3          品番: [0008216          ],SEQ: [0] の生産情報が未登録です
4          品番: [0010053          ],SEQ: [0] の生産情報が未登録です
5          品番: [9999999999999999 ],SEQ: [0] の生産情報が未登録です
```



操作方法(データ再取込み機能)

データ再取り込み機能は、1 度取り込みをおこなった展示会の受注数を、再度発注数として取り込む際に使用します。
なお、基本的な操作方法については P.2 をご覧ください。

データ再取込み チェックボックス

こちらのチェックボックスにチェックを入れると、指定した展示会に対して再度の取り込みを可能とします。
現在企画発注入力に登録されている発注数を、現在の受注数で上書きします。
チェックを入れた後の操作は通常の取り込み手順と同じです。

[利用上のご注意]

前回の受注データ取込後に発注数を手入力で修正している品番が存在する場合は
そちらの品番の発注数も**現在の受注数で上書き**されますのでご注意ください。